

仕様書

1. 件名

国際的・学際的研究プログラムの学術的価値創造とその伝播に関する実証研究のための Scopus データ整備

2. 目的

国際的・学際的研究プログラムの受賞者および比較対象者を対象とし、計量書誌学的な視点から以下の分析を行うための Scopus データを整備する。

- ① 受賞による研究力の質的転換
- ② 世代間の研究継承

3. 仕様

3-1. 基本方針

国際的・学際的研究プログラムの学術的価値創造とその伝播に関する実証研究(以下、「本研究」という。)では、広範な科学分野を対象として個人レベルの動向分析を行う。そのため、Elsevier 社の Scopus を用いて著者レベルの ID を高い精度で同定し、データ整備を行うこと。Scopus の収録範囲は別紙 1 を参照のこと。

3-2. 対象期間

論文出版年月の 1996 年 1 月から 2024 年 12 月までを対象とする。

3-3. データ整備対象

本研究では、国際的・学際的研究プログラムの受賞者と非受賞者との間で、研究力の質的転換や世代間の研究継承に差があるか、またそのプロセスがどのようなものであるかを検証する。この観点から、国際的・学際的研究プログラムの受賞者と比較対象者についてデータを収集する。それぞれについての内容や対象数は表 1 に示すとおりである。データ整備に際しては、適時、当研究所担当職員と協議を行うこと。

表 1 データ整備対象

種別	内容	対象数
国際的・学際的研究プログラムの受賞者	NISTEP から貸与する国際的・学際的研究プログラムの受賞者リストに含まれる日本人研究者	約 120 名
比較対象者	受賞者と受賞前における特性(活動分野、活動期間等)が類似している研究者 ※ 考慮する特性については NISTEP と協議の上決定する。	約 480 名

3-4. データ整備内容

以下のデータについて、受賞者と比較対象者を対象として整備を行う。データ整備に際しては、ま

ず 1 次データを NISTEP に提出し、NISTEP による確認を経て最終納品物を準備する。なお、受賞者/比較対象者の次世代研究者の情報については、定義の検討を行うため、サンプルデータを事前に共有すること。

① 受賞者/比較対象者が著者に含まれる論文の情報（以下、A-1 という。）

- 受賞者/比較対象者に対応する著者 ID
- 受賞者/比較対象者の氏名及び所属機関名
- 共著者の氏名及び所属機関名リスト
- Scopus 上のユニークな論文 ID、雑誌名、出版年等の基礎的な書誌情報
- 分野情報 (ASJC code)、キーワード
- 論文謝辞中に記載されている研究資金の情報
- 独立研究者フラグ (責任著者/共同責任著者)
- その他分析の趣旨を踏まえて使える指標 (Field Weighted Citation Impact 等)

② 受賞者/比較対象者が著者に含まれる論文(A-1)を引用する論文の情報（以下、A-2 という。）

- Scopus 上のユニークな論文 ID、雑誌名、出版年等の基礎的な書誌情報
- 分野情報 (ASJC code)、キーワード
- 著者の氏名及び所属機関名リスト

③ 受賞者/比較対象者の次世代研究者の論文の情報(以下、A-3 という。)

次世代研究者は以下の 2 つの方法で定義する。1 つ目は、Elsevier 社の Tree index※で用いられている方法に準拠した定義(以下、「広い定義」という。)である。2 つ目は、次世代研究者の主体的な学術的価値創造に着目した、条件を絞った定義である(以下、「狭い定義」という)。

※Tree index: シニア研究者が次世代の科学者の育成に果たした貢献を測定することを目的とした指数

Tree Index に準拠した定義(広い定義)

受賞者/比較対象者が著者である論文の共著者であり、かつ研究経歴の初期段階(論文出版が始まってから 1～5 年間)にある研究者を「次世代研究者」とする。

次世代研究者の主体的な学術的価値創造に着目した定義(狭い定義)

受賞者/比較対象者が責任著者 (corresponding author) である論文の筆頭著者 (first author) であり、まだ自身が責任著者となっていない研究者を「次世代研究者」と見なす。なお、本定義については条件を変更する可能性がある。定義については NISTEP との協議のうえで決めること。

収集データ項目

- 次世代研究者に対応する著者 ID
- 著者の定義フラグ (広い定義/狭い定義)
- 次世代研究者の氏名及び所属機関名
- Scopus 上のユニークな論文 ID、雑誌名、出版年等の基礎的な書誌情報
- 分野情報 (ASJC code)、キーワード

- 論文謝辞中に記載されている研究資金の情報
- 論文における次世代研究者の立場(筆頭・共同筆頭/共同/最終/責任・共同責任)
- 独立研究者フラグ(責任著者/共同責任著者)
- 次世代研究者の初めての出版からの当該論文出版までの経過年
- 著者数と著者番号(著者全体の中での位置)
- その他分析の趣旨を踏まえて使えるような指標(Tree index、Field Weighted Citation Impact 等)

3-5. データの公開

本実証研究の結果については、科学技術・学術政策研究所の報告書及び国際的な論文誌での公表を想定している。昨今のオープンサイエンスの潮流により、論文誌への投稿時にはデータセットの公開が求められる可能性がある。その際には、当研究所担当職員と協議の上、データ公開の範囲について決定する。

4. 納入品

上記の A1～A3 の内容を収録した電子データ一式

5. 納入場所および納入期限等

(1) 納入場所

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術予測・政策基盤調査研究センター
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 2 号
中央合同庁舎第 7 号館東館 16 階

(2) 納入期限

令和 7 年 11 月 28 日(金)

6. 保証期間

請負者は、当研究所の責によらない理由によって当該データに欠陥等があった場合は、納入から1年間の期間内において無償で修復・交換を行うこと。

7. その他

本仕様に定める事項に関して疑義を生じた場合は、当研究所担当職員と協議の上、指示を受けること。

以上

〈対象分野〉

- 1 農学・生物学に関する分野
- 2 人文学・芸術に関する
- 3 生化学・遺伝学・分子生物学に関する分野
- 4 ビジネス・経営学・会計学に関する分野
- 5 化学工学に関する分野
- 6 化学に関する分野
- 7 コンピュータ科学に関する分野
- 8 意思決定科学に関する分野
- 9 地球科学に関する分野
- 10 経済学・財務に関する分野
- 11 エネルギーに関する分野
- 12 工学に関する分野
- 13 環境科学に関する分野
- 14 免疫学・細菌学に関する分野
- 15 物質材料科学に関する分野
- 16 数学に関する分野
- 17 医学に関する分野
- 18 神経科学に関する分野
- 19 看護学に関する分野
- 20 薬理学・毒性・薬学に関する分野
- 21 物理学・天文学に関する分野
- 22 心理学に関する分野
- 23 社会科学に関する分野
- 24 獣医学に関する分野
- 25 歯科学に関する分野
- 26 健康衛生学に関する分野
- 27 自然科学全般

〈ジャーナルの分野別数〉

工学・化学・物理学・数学等	約 9,298 タイトル
医学・薬学・ヘルスサイエンス	約 7,747 タイトル
生物学、農業科学、環境学	約 5,280 タイトル
社会科学・心理学・経済学	約 12,050 タイトル

＜対象ジャーナルの地域比率＞

西ヨーロッパ地域	50％程度
北米地域	25％程度
アジアパシフィック地域	10％程度（日本国内発行雑誌を 360 タイトル以上含む）
東ヨーロッパ地域	8％程度
中東、アフリカ地域	4％程度
中南米地域	3％程度